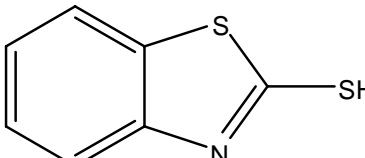


反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG422)データシート

官報公示 整理番号	5-242	CAS No.	149-30-4
名称 構造式等	<div>名 称：2 -メルカプトベンゾチアゾール</div> <div>別 名：2-Mercaptobenzothiazole</div> <div>2(3H)-Benzothiazolethione</div> <div>2-Benzothiazolethiol</div> <div>Benzothiazole-2- thiol</div> <div>MBT</div> <div>分子量：167.25</div> <div>分子式：C₇H₅NS₂</div> <div>構造式：</div> <div></div>		
外観	白色～黄色の刺激臭を有する粉末		
溶解度	油溶性(水に不溶，アセトン・酢酸に易溶)		
分解性	難分解性（通産省公報 昭和 52 年 11 月 30 日公表）		
蓄積性	低濃縮性（通産省公報 昭和 52 年 11 月 30 日公表）		
純度	99.0%		
用量設定 試験	投与用量	0, 30, 100, 300, 1000 mg/kg/day	
	投与期間	14 日間	
	主な結果	1000：自発運動低下，眼瞼下垂，流涎，肝臓重量（傾向），ALT 300：自発運動低下，眼瞼下垂，流涎	
反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験（ReproTox）			
投与	使用動物	CrI:CD (SD)ラット，投与開始時 9 週齢	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：オリブ油	
	投与用量	0, 40, 200, 1000 mg/kg/day, 回復群 0, 1000 mg/kg/day (R1000)	
	投与期間	42 日間， 42-46 日間（哺育 4 日まで）	
反復投与 毒性 主な結果	一般状態	：眼瞼下垂を伴った軽度自発運動低下(1000)，流涎(1000)	
	行動機能 観察	影響なし	
	体重	：体重増加量（傾向）(1000) ：体重増加量（1000）	
	摂餌量	影響なし	
	尿	：尿比重（1000）	
	血液学	影響なし	
	生化学	：ALT（40, 200, 1000, R1000），LDH（200,1000），-GTP（傾向）(1000) ：ALT（200,1000），Ca（200,1000），-GTP（1000），	

	臓器重量	: 肝臓% (1000), 胸腺 g (1000)
	病理組織	: 小葉中心性肝細胞肥大(1000), 近位尿細管上皮の硝子滴増加(1000), 胸腺皮質の萎縮(1000)
	標的臓器	肝臓, 腎臓, (胸腺)
生殖発生毒性 主な結果	親動物	影響なし
	児動物	影響なし
NOAEL		反復投与毒性: 40, 40 生殖発生毒性: 1000
	推定根拠	反復投与毒性 200: LDH 200: 血中 Ca 生殖発生毒性 毒性影響なし
NOEL		反復投与毒性: 40 未満, 40 生殖発生毒性: 1000
	推定根拠	反復投与毒性 40: ALT 200: Ca 生殖発生毒性 影響なし
備考		

本データは、平成 19 年度ハザードデータ評価委員会（独立行政法人製品評価技術基盤機構）で評価された。